回復期リハビリテーション病棟の診療実績について

当院の回復期リハビリテーション病棟より直近3ヶ月に退棟された『患者数』および直近6ヶ月の『実績指数』は以下の通りです。　（令和7年4月現在）

1.患者数（令和7年1月～3月に回復期リハビリテーション病棟から退棟した数）

	入棟時の患者様の状態	退棟患者数 1月	2月	3月
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷、義肢装着訓練を要する状態	7	2	2
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折	11	15	7
③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有している状態	4	1	3
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	0	0	0
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0	0	0
		22	18	12

2.実績指数（直近６か月）

39.45

入院料１厚労省の基準：40以上

※実績指数とは・・・　リハビリテーションの効果を測る指標の１つであり、次の数値を所定の計算式に当てはめて算出します。

① 機能自立度評価(ＦＩＭ)を用いて、入院時と退院時を比較し、どれくらい回復したかを点数化したもの

② リハビリに要した入院日数

実績指数の数値が大きいほど、リハビリテーションの効果が高く、早期に退院していることを表しています。

Aizenkai GROUP